

てとて

—岩手県民のてとてをつなぎ、環境の輪を広げるために—

◎ 8月1日開催の夏休み特別企画
「西和賀のカブトムシとクワガタ」
(講師：佐井守さん)
子どもたちも興味津々！
展示の様子は、次ページのセンター
情報で紹介しています。



◎ 訪問学習もたくさん
ご利用いただいています！



◎ 「水リンピック」
1円玉の上に、水滴を
いくつ落とせるかな？



環境学習交流センター
の情報をお届けしている
「てとて」は、おかげさまで
30号を迎えることができました。
今後もセンターの情報発信ツール
として、様々な情報をお届けし
ていきますので、よろしく
お願いいたします！

Index

◎センター情報

- ・展示：夏休み企画展示「西和賀のカブトムシ・クワガタ展」
- ・環境学習講座：～うしなわれた自然環境を取り戻そう～
- ・エコカーゴが行く～第19回～



◎団体紹介

<盛岡市>NPO法人 防災ネットいわて

◎イベント報告・県内のイベント情報

◎坂下洋子さんのドイツ通信Vol.1



◎展示

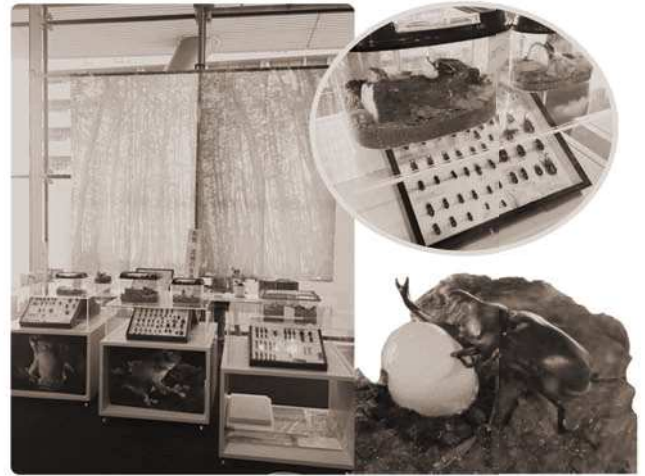
夏休み
企画展示

西和賀のカブトムシ・クワガタ展示

夏休み期間に合わせて、沢内出身の環境アドバイザー佐井守さんにご協力いただきカブトムシやクワガタの標本展示を行いました。

標本の虫たちは全て西和賀町や岩手県内で採集されたもの。カブトやクワガタの他にも、コガネムシやカミキリムシ、カメムシ等の標本もありました。中にはめったにお目にかかれない珍しい虫も。また、一口にクワガタムシと言っても、足の付け根あたりが茶っぽいアカアシクワガタ、体長2cm程度の小さなスジクワガタ、オニクワガタなど様々な種類があり、子ども達も目を輝かせて観察していました。

なんととっても人気だったのが『生きている』カブトやクワガタ。標本ももちろん立派なのですが、人を警戒してはさみを向けるノコギリクワガタや、大食漢でもりもりと体と同じくらいあるエサのゼリーを食べるカブトムシ、のしのしと木の上を動き回る姿は迫力が違います。夏になるとホームセンターでも見かける虫たちですが、仕掛けを作って自然の中へ取りに行ってみるのも面白いかもしれませんね。



◎環境学習講座

～うしなわれた自然環境を取り戻そう～

第一回目：～水田地帯に棲む魚を蘇らせる～ 大人向け

第二回目：～田んぼにすむ生きものはなし～ 子ども向け

日時：第一回目：7月11日（土）／第二回目：7月25日（土） 両日とも13：30～15：00

場所：環境学習交流センター

内容：鈴木 正貴 氏（岩手県立大学総合政策学部助教）

7月は、二回にわたり環境学習講座を開催し、鈴木正貴先生が捕獲してきた田んぼにすむ生物を身近に感じながら、お話をお聞きました。

第一回目では、タナゴが、カワシンジュガイに産卵する様子、タナゴとカワシンジュガイの関係性を知ることが出来ました。タナゴはカワシンジュガイの入水管、出水管を見分け、出水管に産卵をすること。カワシンジュガイが絶滅するとタナゴもまた絶滅の危機となるそうです。

また、圃場整備されたために魚が移動できなくなったりして、田んぼにすむ魚が絶滅しかけているとのこと。農家にとってメリットのある水路と田んぼにすむ生物たちとの関係には、圃場整備と生態系保全の両立が大切であるとのことのお話がありました。絶滅危惧種となっている生物たちに、人間が関わっていることを再認識する機会となりました。

第二回目では、コイが田んぼに産卵する様子を動画で見せていただきました。コイがなぜ田んぼにいるのでしょうか？コイは水路を使って田んぼへ移動、産卵し、また水路を使って川に戻るのだそうです。田んぼはお米だけではなく他の生物も育てていることを知り、田んぼの環境が生物にとって大切であるとの理解を深めることが出来ました。講座の後半には、ドジョウを使って走流性の実験も行い、流れに逆らって泳ぐ性質を自分の目で確かめました。実際にドジョウに触ってみるなどの経験をしたことで、子どもたちの目が輝いていたことがとても印象的でした。

最後に、子どもたちへのメッセージとして、外来生物を「①入れない」、「②捨てない（野外に捨てない）」、「③拡げない（地域に捨てない）」という、責任を持って生物を飼うことの大切さを話していただきました。



「2015花と緑のまつり」

出勤日：6月12日（金）～14日（日）

場 所：花巻市 総合体育館

内 容：森の工作館、地球温暖化アンケート

エコカーゴが行く！

第19回

花巻市で毎年6月に開催されている「花と緑のまつり」へおじゃましました。色とりどりの花苗販売、盆栽や生け花等の展示、講習会など盛りだくさんの内容で、美しい草花と多くの来場者で賑わっていました。私たちはアリーナの入り口付近で「森の工作館」と「地球温暖化アンケート」を実施しました。

森の工作館では、家族連れや友達同士で立ち寄って下さる方々で賑わい、時間を忘れて制作に没頭している方もいれば、松ぼっくりやどんぐりなど木の実の種類に興味を持つ方もいて、センターから持参した図鑑も人気で

した。松ぼっくりにたくさんの種類があるということを知って帰る方も多かったように思います。逆に、花巻周辺で見つけられる場所を教えて下さる方もいました。お互いに情報交換するのもこのようなイベントでの楽しみの一つです。

地球温暖化アンケートでは、3日間で170名以上の回答をいただきました。日頃からご家庭で取り組んでいることを教えてもらい、参考になることも。回答いただいた皆さんありがとうございました。



その他、こんなところにも行きました！

■第8回盛岡星まつり サイドイベント いわて星空フェスタ2015

出勤日：4月4日（土）～5日（日）

■第44回もりおか環境緑花まつり

出勤日：4月24日（金）～26日（日）

■第39回久慈環境緑化まつり

出勤日：5月2日（土）～4日（月）

■肴町こどもフェスティバル

出勤日：5月5日（火）

■盛岡市立大慈寺小学校4年生 総合的な学習の時間

出勤日：5月28日（木）

■本宮ゆいっこまつり（盛岡市）

出勤日：5月31日（日）

■高森高原まつり（一戸町）

出勤日：6月7日（日）

■100万人のキャンドルナイトinいわて2015-夏編-(紫波町)

出勤日：6月20日（土）

■平成27年度 環境講演会（久慈市）

出勤日：7月1日（水）

■日詰子ども教室 ECOを楽しもう！①

出勤日：7月18日（土）

■スターウォッチング☆いちのへ

出勤日：7月25日（土）

■「めぐるちゃん環境わくわくツアー」（盛岡市）

出勤日：7月27日（月）

■甲子公民館事業 「エコカーゴがやってくる！」

出勤日：7月30日（木）

■高木子供会夏休み行事（紫波町）

出勤日：8月8日（土）

■いわて銀河フェスタ2015（奥州市）

出勤日：8月22日（土）

■農研機構 東北農業研究センター「公開デー」

出勤日：9月5日（土）

..... 今後の出勤予定

きたかみ・かねがさき テクノメッセ 2015

出勤日：10月2日（金）

場 所：北上総合体育館

第21回宮古市産業まつり

出勤日：10月3日（土）～4日（日）

場 所：宮古市民総合体育館

森林総研研究所一般公開「森を知る」

出勤日：10月17日（土）

場 所：森林総合研究所東北支所（盛岡市）

しずくしい産業まつり

出勤日：10月24日（土）～25日（日）

場 所：雫石町総合運動公園 体育館

など...

※予定は変更となる場合があります。今後の情報は、環境学習交流センターのホームページ（イベントカレンダー）でご確認ください。

※出張環境学習会（エコカーゴ）ご利用の際は、事前に環境学習交流センターまでお問合せの上、開催日の1ヶ月前までにお申込みください。

団体紹介

『特定非営利活動法人 防災ネットいわて』（盛岡市）

防災ネットいわてで実施している主な事業は、土砂災害基礎調査説明会補助業務と、土砂災害写真パネル展です。

①土砂災害基礎調査説明会住民周知事業

岩手県から委託を受けて実施している同事業は、土砂災害防止法に基づく基礎調査結果・警戒区域指定に関する説明会の資料配布と、説明会受付、説明補助、議事録の作成および住民の意識調査を行っています。

平成26年度は、県北土木管内の久慈市・洋野町、大船渡土木管内の大船渡市・陸前高田市・住田町および花巻市にて実施しました。

②岩手の土砂災害写真パネル展

「土砂災害防止月間」でもある6月、岩手県庁1階県民

室において、岩手県県土整備部砂防災害課との共催で写真パネル展を開催しています。平成26年度のパネル展では、平成25年8月9日に発生した県内の土砂災害状況の写真を中心に展示しました。また、岩手・宮城内陸地震の被災写真、県内の小中学生が作成した土砂災害防止に関する絵画のうち、最優秀賞・優秀賞3点も展示しました。

特定非営利活動法人 防災ネットいわて

〒020-0122 岩手県盛岡市みたけ4-4-20

TEL：019-643-8890 FAX：019-643-8892

ホームページ：<http://www.eins.rnac.ne.jp/~bni/>



県庁でのパネル展



説明会の様子

《省エネ・節電キャンペーン第1弾》

ecoチャレンジいわて・夏

「ecoチャレンジいわて」は、岩手のみなさんの省エネ・節電活動を応援するキャンペーンです。

夏は、一年の中でも電力需要が多くなる季節ですが、ちょっとした工夫で、地球にも家計にも優しい暮らしができます。皆さんも、気軽にecoチャレンジしてみませんか？まもなく締切りとなりますが、たくさんのご応募、お待ちしております！

さらに、今年度は、冬に第2弾を実施します！夏と冬、連続して応募して下さった方の中から、抽選で5名の方に「わんこきょうだい椀」（岩手県産漆を使用した汁椀）をプレゼント。（応募期間は12月～2月中旬を予定）

詳細は、下記のキャンペーン専用HPなどで追って公開いたします。お楽しみに！

*ecoチャレンジいわてHP：<http://www.aiina.jp/environment/ecochalle/>

◆事務局：岩手県地球温暖化防止活動推進センター

T E L：019-606-1752

F A X：019-606-1753

E-mail：ecochalle@aiina.jp

※専用HPでは、過去のecoチャレで応募者の皆さんよりお寄せいただいた、エコチャレンジのアイデアも公開しています。ぜひご覧ください！

まだ間に合います！
応募締切
9月30日必着！

「ていたんそ エコクッキング講座」

地産地消豆腐ドーナツ 使った油は燃料に！

【主催】岩手県地球温暖化防止活動推進センター／特定非営利活動法人環境パートナーシップいわて

【日時】7月28日(水) 9:30~11:30 【会場】大船渡市保健介護センター調理室

岩手県地球温暖化防止活動推進センターは、「地域からはじまる温暖化防止活動」を目指して活動しています。震災復興の中で「ひとの復興」を、地域の環境保全につながるものと考え、地域の自立に向けて、廃食油の資源化活動を通じた三陸の復興および豊かで持続可能性のある地域社会を目指すプロジェクトを進めています。

震災直後、ガソリンなどの燃料が手に入らない状況にあった時、使用済み天ぷら油を回収してバイオディーゼル燃料(以下、BDF)を精製する施設はフル稼働し、沿岸各地の避難所に救援物資を運ぶことができました。しかし、陸前高田市、大船渡市、住田町の気仙地区ではBDFを精製する施設は稼働できなくなり、廃食油の回収も途絶えてしまいました。そこで、昨年度から廃食油の回収再開へ向けて、市町村、業者、協力団体へ話し合いを働きかけ、この秋、回収再開の目処がつかしました。市民への協力を積極的にPRする段階になりました。

今回で4回目となる「ていたんそ エコクッキング講座」には、気合を入れて臨みました。地元の大豆を使った豆腐で豆腐ドーナツを天ぷら油で揚げました。少し変化を持たせ、乾燥わかめを入れたわかめドーナツも試作してみました。今回は、夏休みということもあり、小学生も参加してくれました。クーラーのない調理室での作業は、みんなの熱気も加わり大変でしたが、熱中症になることなく、ちゃんとできあがりました。3グループに分かれた作業での楽しみは、グループごとのできあがり微妙に違うことですが、お味は

みんな一緒に、どれも美味し〜い。みんなで試食しながら、今使った天ぷら油がどのようにして車の燃料になるのか、苦心の作である「紙芝居」で理解を深めました(アンケートには、紙芝居でBDFのこと、リサイクルの必要性がよく分かったと嬉しい声も！)。

この後、講師であるNPO法人夢ネット大船渡の新沼孝子さんより、冷ましておいた使用済み天ぷら油の回収方法を実演・指導していただきました。講座の参加者募集から、準備、指導までしていただいた新沼さんのご努力で、地域に根差した活動の広がりを感じることができました。

この講座を通して、地域の貴重な資源である廃食油を地域で回収、精製、使う仕組みのきっかけ作りをしたいと思っています。この秋から、大船渡市では実験回収が始まります。回収へのご協力をお願いして、講座を終了しました。

※この事業は、独立行政法人環境再生保全機構地球環境基金の助成を受けて実施しています。



熱血指導の新沼さん、おやつ分もうよ！



僕、上手に丸めたよ！参加の小学生

県内のイベント情報

○イベントの詳細については、それぞれの主催団体へお問合せください。

①自然歩道を歩く「岩手山麓ウォーキング」

【日 時】10月12日(月)
9:30~15:30
【集合場所】相の沢登山口(駐車場)
【参加料】大人500円 小学生300円
【定 員】20名

②森林教室「親子で自然クラフトを楽しもう」

【日 時】11月1日(日) 9:30~12:30
【集合場所】網張ビジターセンター
【参加料】大人500円 小学生300円
(材料費込)
【定 員】10名

【①~②問合せ】
網張ビジターセンター
TEL: 019-693-3777
FAX: 019-693-3778

③定例 森の観察会

10月「自然の宝物見つけ隊」
【日 時】10月18日(日)
10:00~12:00
(9:50ネイチャーセンター集合)
【参加費】無料

【③問合せ】

岩手県滝沢森林公園
野鳥観察の森 ネイチャーセンター
TEL/FAX: 019-688-5522

④自然観察会と紅葉の滝めぐり

【日 時】10月17日(土)
9:00~15:00
(開始15分前に集合)
【集合場所】森林ふれあい学習館フォレストアイ
【参加費】1,000円
(近隣施設の温泉入浴券付き)
【内 容】県民の森園内から「七滝~魚止めの滝」までの自然を観察する。
※長靴持参

【④問合せ】

森林ふれあい学習館フォレストアイ
TEL: 0195-78-2092

⑤第273回例会

少年少女秘境の滝ウォッチング
【日 時】9月26日(土)
9:00~15:00

(30分前に受付、帰着時間はおおよその目安)
【集合場所】雫石町総合体育館バイパス沿い駐車場
【参加費】無料
【諸注意】長袖、長ズボン、手袋、長靴
(スパイク付長靴であればなおよい、ズックは不可)
【主な解説】南八幡平に存在する滝、滝の水はどこから来るのかな

【⑤問合せ】

岩手自然ガイド協会設立準備会 事務局
TEL: 019-692-2443
080-6040-2443

イベント情報をお寄せください！

環境関連イベントやセミナー等の情報をお持ちの方は、環境学習交流センターまでお知らせください。ホームページ等でご紹介する他、チラシやポスターを送付・持参いただいた場合には館内で掲示させていただいております。

坂下洋子さんの ドイツ通信

Vol. 1

スケジュールの中に時間があると、そこに埋め込むように依頼ごとや予定を入れ、それを当たり前のように過ごし、動いていないと罪悪感さえも感じるがあったり…。日本での生活を振り返るとそんな自分がありました。そのような自分にとって、「安息日」という時間を大切にドイツの暮らしは、ゆっくりとしたひとときを過ごすことの尊さを思い出し、見つめなおすきっかけを与えてくれました。とはいえ24時間営業のコンビニや、日曜日の買い物が当たり前でできる日本の暮らしに慣れてきた自分にとって、最初は戸惑いがあったのも事実です。日曜日と祝日は、一部のパン屋さんと一部のレストラン以外はお休み。長距離トラックの運転手もお休みになりますから、大型のトラックがサービスエリアで泊り…という姿もよく目にする光景です。日本の生活に慣れたサービスを利用する側にとっては、週に一度とはいえ、日曜日や祝日に「〇〇がちょっと無くなったからちょっと買ってくるね」ということは不可能ですから、週末の家庭経営在庫管理？担当者は頭を働かせなくてはなりません。

でも慣れてくると、この暮らしがどんなに自分たちにとって大切なものなのかが見えてくるようになりました。確実に休みなのだということで、基本休みに買い物に行く計画は立てなくなりません。動物園・美術館・博物館・図書館・スポーツ施設はもちろん開いておりますし、ハイキングやトレッキング、自転車ツーリングをしたりできる環境もすぐそばにあります。ドイツの素敵なところは週末を家族で過ごすことが基本で、出かけるというところで家族や友人と過ごす姿を目にすることです。(余談ですが、夫婦や恋人たちが、若い人に限らず年配の方まで手をつないで歩く姿はよくみられる光景です) もちろん何もせず、家庭でぼーっとしていたり、庭を見ながらビールやコーヒーを手につろいだりする時間を過ごすのも良いでしょう。いずれにせよこの時間が環境にも自分にとっても優しい時間をプレゼントしてくれているような気がするのです。

視点を変えれば、大型店をはじめとする多くの店が一齐に休むことでどれだけの電気など諸々の消費量を減らすことができるのか…関連的にいろんなことが想像できると思います。また身体と頭に休息を与えることがどれだけ心身へのリフレッシュ効果があるか…紙面が限られているので詳細はご想像にゆだねることに致しますが、最近さまざまな所で科学的に証明され



ているようです。心の豊かさは忙しさの中からは生まれてこないような気がしています。忙しいことを否定しているわけではなく、安息日のようにふっと立ち止まることのできる時間を持つことで、周りを見渡すことのできる心の余裕を生み出すことができるような気がするのです。時間に追われていると、自分のことではいっばいっばいで他のものに目が行きにくい状態になりがちです。



ドイツの人の運転を見ていると、どんなに混雑していても横から入ってくる車をほとんどの車が入らせてあげます。横断歩道に歩行者がいるとほとんどの車が止まってくれます。早くいけ！と言わんばかりにクラクションを鳴らす車もほとんど見かけません。バスに乗るときでも走ってくる人があれば、見ず知らぬ人がその人がバスに間に合うように、扉を自分が押さえて待っている姿もよく見かけます。(もちろんその行為に対してバスの出発が遅くなるのに文句を言う人を見かけたことはありません)。国民性と言ってしまうればそれまでですが、それを作り出している背景には、心のゆとりがあるような気がしてなりません。

また旅行の仕方、旅先での時間の使い方もその一つです。一週間の休暇で旅行に行く計画を立てると仮定したとき、日本人はバック旅行をはじめとして、さまざまな所(観光名所など)に行く計画を立てる傾向にあるようです。でもドイツの人は一所に腰を落ち着かせゆったりとした旅行計画を立てる方が多いようです。先日夏休みを利用して家族で南アルプスに出かけたときのことです。そこにはそれぞれの国向けのガイドブック(A4サイズのかかなり立派なもの)が売ってありました。表紙は全て同じなのですが、日本語で書かれたガイドブックには観光名所や珍しい場所の紹介がほとんどのページを割いており、一方でドイツ人向けの本にはハイキングや山登りを中心としたアクティビティが中心に紹介されておりました。それぞれの価値観がありますから、それぞれの楽しみがあって良いとは思いますが、気忙しいひとときから解放され、自然の中に心身ともに自分を解き放つドイツの旅のあり方に共感するのは、私が年を重ねたせいなのでしょう。(笑)

ドイツでの生活も残すところ半年になりました。たくさんのお会いとひとときを大切にしながら日本に帰ってからの生活に生かしていきたいと考えています。

◆ 坂下洋子さんプロフィール ◆

釜石市出身。環境アドバイザー・岩手県地球温暖化防止活動推進員としても広く活動され、現在は、ドイツ・フランクフルト在住。

● 「いわて環境情報板」更新中です！ ●

岩手県や県内自治体の環境情報、関連イベント情報、助成金情報などを中心にお伝えしています。環境という広範囲な話題を、皆さんにとって身近に感じられるよう、その時々タイムリーな情報と切り口でお届けしています。毎月更新していきますので、お楽しみに！

「いわて環境情報板」：<http://www.iwate-eco.jp/know/mailmag.html>

センター通信 スタッフのつぶやき

今年の夏は全国的に記録的な猛暑で、屋内にいても意識的に水分補給をするようにしていました。当センターでも、暑い日の日中、ゆっくりと過ごしていくご家族もいらっしゃいました。ウォームシェア(家の暖房を控え、暖かい公共施設やお店で気軽に過ごすこと)でもお待ちしております。

発行 環境学習交流センター

〒020-0045 盛岡市盛岡駅西通1-7-1 アイーナ5F
TEL:019-606-1752 FAX:019-606-1753

[E-mail] eco@aiina.jp

[Website] <http://www.aiina.jp/environment/>

[Blog] <http://blog.iwate-eco.jp/>

[Twitter] http://twittre.com/iwate_eco

[Facebook] <https://www.facebook.com/iwate.eco>

◎環境学習交流センターは、特定非営利活動法人環境パートナーシップいわてが岩手県から委託を受けて運営しております。